



平成29年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月2日

上場会社名 象印マホービン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7965 URL http://www.zojirushi.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 市川 典男
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡本 茂久 (TEL) 06-6356-2368
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第3四半期の連結業績(平成28年11月21日～平成29年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第3四半期	65,233	△5.9	6,059	△38.0	6,461	△24.8	4,197	△22.5
28年11月期第3四半期	69,333	2.5	9,768	23.6	8,594	2.4	5,417	4.4

(注) 包括利益 29年11月期第3四半期 6,148百万円(133.8%) 28年11月期第3四半期 2,629百万円(△62.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第3四半期	62.13	—
28年11月期第3四半期	80.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第3四半期	89,787	65,557	72.3
28年11月期	88,022	61,144	68.7

(参考) 自己資本 29年11月期第3四半期 64,939百万円 28年11月期 60,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	10.00	—	12.00	22.00
29年11月期	—	11.00	—	—	—
29年11月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年11月期の連結業績予想(平成28年11月21日～平成29年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	△4.7	8,700	△28.2	9,200	△22.2	6,200	△15.1	91.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、 除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年11月期3Q	72,600,000株	28年11月期	72,600,000株
② 期末自己株式数	29年11月期3Q	5,031,460株	28年11月期	5,031,010株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年11月期3Q	67,568,864株	28年11月期3Q	67,569,047株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向となり、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、米国政権の政策動向や東アジア地域の情勢不安などによる世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社グループは、ご家庭の好みに合わせごはんを炊き分ける「わが家炊き」機能を強化し、より好みに合わせた細かい炊き上がりを実現した圧力IH炊飯ジャーの新製品を発売するとともに、既存商品のモデルチェンジにより炊飯ジャーや電気ポットの機能強化をはかりました。

製品区分別の概況は次のとおりであります。

調理家電製品につきましては、国内においては、3合炊きサイズの圧力IH炊飯ジャーの売上が増加したものの、その他の炊飯ジャーは競合他社との販売競争激化も影響し、低調に推移したことにより、炊飯ジャー全体としては売上が減少いたしました。電気ポットは市場全体の出荷数量が減少したこともあり、前年実績を下回りました。電気調理器具ではオーブントースターを中心に売上が増加したものの、グリルなべや圧力IHなべなどが低調に推移し、電気調理器具全体としては前年実績を下回りました。海外においては、炊飯ジャーは北米市場などで売上が減少したものの、中国市場でマイコン炊飯ジャーやIH炊飯ジャーが好調に推移したことにより、全体としては売上が伸長いたしました。また、電気ポットも中国市場で売上が増加いたしました。しかしながら、調理家電製品の売上高は423億79百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

リビング製品につきましては、国内においては、ステンレスフードジャーは市場全体の出荷数量減少もあり、低調に推移したものの、飲み方を2通りから選べる2WAYボトルや保冷専用のステンレスクールボトルが新製品の投入効果もあり前年実績を上回りました。海外においては、中国市場ではステンレスマグやステンレスフードジャーなどの売上が増加いたしました。しかしながら、北米市場ではステンレスマグやステンレスマホービンを使用した大型の業務用コーヒーマシンなどが低調に推移し、台湾市場でもステンレスフードジャーを中心に前年実績を下回るなど、ステンレスマホービンの売上が減少いたしました。その結果、リビング製品の売上高は196億67百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

生活家電製品につきましては、加湿器や食器乾燥器の売上が増加し、ふとん乾燥機も市場全体の出荷数量増加もあり好調に推移いたしました。その結果、生活家電製品の売上高は20億21百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

また、その他製品の売上高は11億63百万円（前年同期比0.0%減）となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外においては前年同期に比べ円高で推移したことによる海外売上高の円換算額の減少はあったものの、中国市場では売上が伸長したことにより、海外売上高は増加いたしました。しかしながら、国内において炊飯ジャーを中心に売上が減少したことが影響し、652億33百万円（前年同期比5.9%減）となりました。利益につきましては、円高による海外生産品の原価低減効果はあったものの、国内売上高が減少したことに加え、炊飯ジャーなどの利益率が低下したこともあり、営業利益は60億59百万円（前年同期比38.0%減）となりました。経常利益は為替差益の計上などによる営業外損益の改善もあり、64億61百万円（前年同期比24.8%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億97百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

・製品区分別売上実績

製品区分	販売高(百万円)	前年同期比(%)
調理家電製品	42,379	△8.6
リビング製品	19,667	△0.8
生活家電製品	2,021	2.8
その他製品	1,163	△0.0
合計	65,233	△5.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(参考情報)

・所在地別業績

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
売上高					
外部顧客への売上高	42,685	17,598	4,949	—	65,233
所在地間の内部売上高 又は振替高	10,014	4,171	0	(14,186)	—
営業利益	4,050	1,714	565	(270)	6,059

・地域別売上高

	日本	海外						合計	
		アジア		北米	欧州	中近東	その他		計
		内、中国							
地域別売上高 (百万円)	41,511	18,259	9,431	4,805	152	325	178	23,721	65,233
全体に占める 割合(%)	63.6	28.0	14.5	7.4	0.2	0.5	0.3	36.4	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が17億64百万円増加し、負債が26億47百万円減少しました。また、純資産は44億12百万円増加いたしました。その結果、自己資本比率は3.6ポイント増加し72.3%となりました。

総資産の増加17億64百万円は、流動資産の増加16億49百万円及び固定資産の増加1億14百万円によるものであります。

流動資産の増加16億49百万円の主なものは、現金及び預金の増加61億57百万円、受取手形及び売掛金の減少31億6百万円、商品及び製品の減少16億63百万円であります。また、固定資産の増加1億14百万円の主なものは、建設仮勘定の減少1億65百万円、ソフトウェアの減少3億54百万円、投資有価証券の増加4億16百万円、退職給付に係る資産の増加4億24百万円、投資その他の資産のその他の減少2億57百万円であります。

負債の減少26億47百万円は、流動負債の減少28億66百万円及び固定負債の増加2億19百万円によるものであります。

流動負債の減少28億66百万円の主なものは、支払手形及び買掛金の減少5億74百万円、未払法人税等の減少12億51百万円、賞与引当金の減少5億45百万円、流動負債のその他の減少4億54百万円あります。また、固定負債の増加2億19百万円の主なものは、繰延税金負債の増加3億18百万円、退職給付に係る負債の増加59百万円、固定負債のその他の減少1億58百万円であります。

純資産の増加44億12百万円の主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上41億97百万円、剰余金の配当の支払15億54百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億2百万円、為替換算調整勘定の増加14億66百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降も特に国内市場におきましては引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されますが、国内におきましては新製品の積極的な拡売を図るとともに、海外におきましても中国市場を中心にさらなる売上の伸長を目指してまいります。

平成29年11月期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績の状況及び今後の見通し等を検討した結果、平成29年7月3日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,755	29,913
受取手形及び売掛金	14,029	10,922
電子記録債権	1,276	1,237
有価証券	100	-
商品及び製品	18,732	17,069
仕掛品	222	282
原材料及び貯蔵品	1,989	2,664
繰延税金資産	1,269	1,172
その他	3,215	2,977
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	64,583	66,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,908	13,834
減価償却累計額	△10,870	△10,815
建物及び構築物(純額)	3,037	3,018
機械装置及び運搬具	3,309	3,503
減価償却累計額	△2,937	△2,949
機械装置及び運搬具(純額)	371	553
工具、器具及び備品	6,622	6,935
減価償却累計額	△4,832	△5,290
工具、器具及び備品(純額)	1,789	1,644
土地	7,387	7,387
リース資産	1	1
減価償却累計額	△0	△1
リース資産(純額)	0	0
建設仮勘定	169	3
有形固定資産合計	12,756	12,608
無形固定資産		
のれん	9	4
ソフトウェア	2,539	2,185
その他	159	204
無形固定資産合計	2,708	2,394
投資その他の資産		
投資有価証券	7,103	7,519
繰延税金資産	68	61
退職給付に係る資産	71	495
その他	741	483
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	7,973	8,550
固定資産合計	23,438	23,553
資産合計	88,022	89,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,925	8,350
短期借入金	174	-
1年内返済予定の長期借入金	1,500	1,500
未払費用	6,595	6,762
未払法人税等	1,526	274
賞与引当金	1,094	549
製品保証引当金	236	202
その他	1,218	764
流動負債合計	21,271	18,404
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
繰延税金負債	1,018	1,336
退職給付に係る負債	2,577	2,637
その他	509	351
固定負債合計	5,606	5,825
負債合計	26,877	24,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,022	4,022
資本剰余金	4,163	4,163
利益剰余金	52,637	55,281
自己株式	△972	△972
株主資本合計	59,851	62,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,021	2,323
為替換算調整勘定	△867	599
退職給付に係る調整累計額	△565	△477
その他の包括利益累計額合計	588	2,444
非支配株主持分	705	617
純資産合計	61,144	65,557
負債純資産合計	88,022	89,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月21日 至平成28年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月21日 至平成29年8月20日)
売上高	69,333	65,233
売上原価	43,839	43,030
売上総利益	25,494	22,202
販売費及び一般管理費	15,725	16,143
営業利益	9,768	6,059
営業外収益		
受取利息	50	47
受取配当金	112	114
仕入割引	28	24
持分法による投資利益	183	278
受取ロイヤリティー	42	59
受取賃貸料	94	95
為替差益	-	96
その他	91	64
営業外収益合計	604	781
営業外費用		
支払利息	29	13
売上割引	324	321
為替差損	1,375	-
その他	48	45
営業外費用合計	1,778	379
経常利益	8,594	6,461
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	105	14
その他	5	-
特別損失合計	110	15
税金等調整前四半期純利益	8,484	6,446
法人税、住民税及び事業税	1,966	1,914
法人税等調整額	1,014	276
法人税等合計	2,981	2,191
四半期純利益	5,503	4,255
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,417	4,197

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月21日 至平成28年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月21日 至平成29年8月20日)
四半期純利益	5,503	4,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△585	302
繰延ヘッジ損益	△30	-
為替換算調整勘定	△2,055	1,277
退職給付に係る調整額	19	87
持分法適用会社に対する持分相当額	△220	225
その他の包括利益合計	△2,873	1,893
四半期包括利益	2,629	6,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,657	6,054
非支配株主に係る四半期包括利益	△27	94

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。